

ミスト液で工具長寿命化

グローイング

新冷却装置を開発

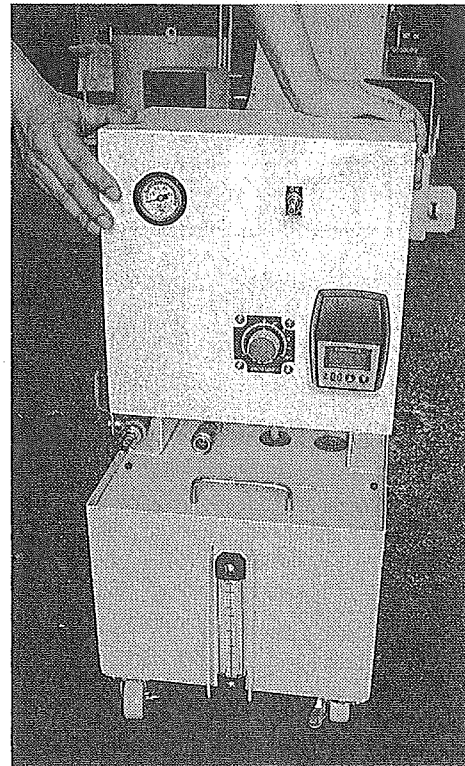
向上にも寄与する。本体価格は三十万円程度。

東南精機グループで環境・省エネ設備製造のグローイング(本社安城市根崎町東新切三三ノ一、渡辺秀一社長、電話0566・73・4161)は、切削加工専用のミストクーラント発生装置を開発した。水溶性ミストの高い冷却効果で刃先の温度上昇を抑え、工具寿命を倍増させるなどの効果がある。機械メーカーなどの需要を見込み、拡販に乗り出す。

(岩崎幸一)

今回開発した「ミスト専用液は上水道水で十割が図れる。

「ジェット」は、タンク容量五十倍に希釈して使用で、また、ミスト液の蒸発量が十割と二十割の二機き、ワーク洗浄・水切りで起きる気化熱で刃先の種で、噴霧量は一分間あが不要なため生産現場で熱を奪うことから、工具たり〇・五十三六リットルのコスト低減や工程短縮の長寿命化や加工精度の



拡販するミストクーラント発生装置「ミストジェット」

気化熱が刃先温度上昇抑制 切削加工向けに拡販

切削加工現場では、切削性や冷却性を高めるための切削液(クーラント液)に、これまで鉱油が使われてきたが、循環設備や廃液処理などのコストがかかるのに加え、クーラント液の夏場の温度上昇なども工具の寿命に影響を与えていた。

このため、同社は鉱油を使わないシンセティックタイプの専用液を十年ほど前に開発した。新たな油性剤の働きにより、刃先周縁部でのみ潤滑膜を形成することに成功した。

これまでグループの東南精機向けに供給してきたが、環境意識の高まりなどから、操作性を高めた専用発生装置を商品化し、本格的に外販することにした。